

# 令和4年度 第1回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員	
I 特色ある学校づくりに努めている。	1 特色ある教育活動を行っている。	1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 84.6%	B 79.2%	A 91.3%	A 84.5%	真の文武両道を目指して、運動面、学業面ともに更なる向上を目指している。
	2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 85.8%	A 83.4%	A 88.0%	A 92.8%	様々な場面を通して生徒や保護者の意見を吸い上げ、地域や社会のニーズに対応した教育活動に活かしていきたいと考えている。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3 生徒の実態に応じた指導を行っている。	3 学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 87.5%	A 87.7%	A 87.6%	A 83.3%	生徒の実態を的確に把握することに努めるとともに、アクティブラーニングの推進やICTの活用など、双方向的な授業を心掛けている。また、教育過程の改訂にとともに、総合的な探究を柱に教科横断型授業を通して生徒の考える力とコミュニケーション能力の育成に力を入れている。
	4 生徒は確かな学力を身につけている。	4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 86.2%	A 87.5%	A 84.6%	A 87.5%	
	5 生徒に自主的な学習を喚起している。	5 生徒の主体性や協働性を高める授業や活動を行っている。	A 86.3%	A 85.3%	A 87.9%	A 83.3%	各学年やコースに応じた授業展開を実践し、自ら主体的に学ぶ態度や協働的な学びの育成に力を入れている。一方で、OASISや図書館、食堂の開放など、放課後学習の場は確保されている。これからも、生徒が受身的ではなく、自らが学びに向かうことのできる授業や課外活動を提案・企画していきたい。
	6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 90.0%	A 90.9%	A 89.8%	A 81.4%		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6 組織的・継続的な指導を行っている。	7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 88.9%	A 84.2%	A 94.1%	A 94.8%	多くの生徒は社会のルールや学校の規則を守り、落ち着いた学校生活を送っているが、SNSに起因したトラブルが社会的に増加している。日々の指導や集会などを通して、情報モラルやSNSでの危険性を注意喚起していく。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 90.8%	A 89.1%	A 92.5%	A 94.8%	コロナ感染症流行拡大の状況の中で、換気や手洗い、手指消毒の励行を指導している。
	8 生徒が安心安全に学校生活を送れるよう指導や配慮ができています。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 89.1%	A 88.3%	A 89.4%	A 94.8%	登下校時の通学指導やスクールバス乗車時のバス指導など、状況に応じて対応している。県内での自転車事故の増加に鑑み、交通安全指導を更に徹底させていきたい。ヘルメットの着用率は、着実に向上している。
		10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	A 80.4%	B 79.7%	A 80.3%	A 90.7%	生徒の悩みや不安に対応できる体制づくりを進めている。スクールカウンセラーが週二日教育相談室に在室し、カウンセリングにあたっている。今後も職員研修などを通して、教師一人一人のカウンセリングマインドを磨いていきたい。
	9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	A 88.0%	A 87.4%	A 90.3%	B 72.2%	コロナ禍の状況の中ではあったが、実行委員会、生徒会が中心となって「藤樹祭」(文化祭)を開催した。様々な制限の中で、意見やアイデアを出し合いながらの開催となったが、生徒の成長を促すことができたと考える。
		12 部活動が活発で充実している。	A 95.0%	A 95.2%	A 95.1%	A 92.8%	運動部、文化部ともに非常に活発で、大きな成果を上げている。
	13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	B 77.0%	B 75.4%	B 77.9%	A 87.6%	生徒会が中心となり、年2回いじめについて考える「いじめ防止フォーラム」を実施している。いじめは絶対許さないという体制を作っていくことが不可欠であると考えられる。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な進路指導を行っている。	14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 87.9%	A 90.5%	A 85.7%	B 77.3%	土曜講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座など、状況に合わせて計画的に講座が実施されている。各種講座や補習について更に充実したものになるように検討していきたい。
	11 適切な進路情報を提供している。	15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 89.5%	A 92.1%	A 85.9%	A 92.8%	外部講師を招き、職業や学問について学び、理解を深める機会を設定した。また、コロナウイルス感染症を十分に留意しながら、県内外で行われる高大連携事業や大学相談会などの進路企画の実施を進めている。
	12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	B 79.2%	A 84.1%	B 72.5%	A 86.6%	様々な進路希望に合わせ、小論文指導や面接練習指導など、個別指導を徹底させている。今後も研修等を通して、教師の指導スキルの向上に努めたい。
	13 資格取得や検定対策を行っている。	17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 85.7%	A 90.8%	B 79.1%	A 88.7%	英語検定や漢字検定、数学検定などの各種検定の受験機会を数多く設定している。検定に対する受験準備が確かな学力養成につながるよう事前指導を工夫していきたい。
V 開かれた学校づくりに努めている。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 84.2%	A 85.2%	A 82.3%	A 90.7%	学校生活の様子や本校の魅力が家庭や地域社会に伝わるように、情報発信を進めている。
	15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	A 83.4%	A 86.2%	B 79.8%	A 85.6%	学校からの配布物やClassiなどのICTを利用した連絡を併用することで、保護者に必要な情報が適切に伝わるように工夫している。Classiについては有効な情報伝達手段として更に利用率の向上を図ってきたい。
		20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 97.1%	—	A 97.1%	A 96.9%	
		21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 80.4%	—	A 80.8%	B 76.3%	

備考:

1) 2022年(令和4年)7月実施

2) 有効回答数-生徒1207名(90.5%)・保護者984名(73.8%)・教職員97名(93.2%)